

報 廣 市 館

編集と発行 館山市企画課 館山市北条1.145番地の1 電話館山1501~1508番

昭和40年
1月22日
第154号
(毎月1回発行)

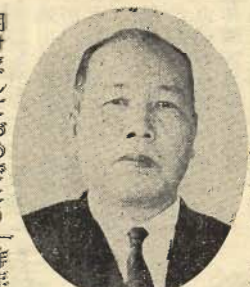
総人口	57,248人
男	27,586人
女	29,662人
世帯数	14,675世帯
出生	54人(男30・女24)
死亡	55人(男26・女29)
転入	171人(男97・女74)
転出	158人(男74・女84)

二月の天候予想
富崎測候所
寒、暖の変動が大きく
平均気温は並みかやや低
めですが、変化の傾向は
高めから下旬に低くなる
見込みです。
降水量は平年並みです
が沿岸では多めの所があ
りましょう。
富崎における平年値
気温(摂氏)
二月上旬 六・五
中旬 六・八
下旬 七・五
降水量(mm)
二月上旬 三三・〇
中旬 三一・三
下旬 二七・七

謹 賀 新 年 昭 和 4 0 年 元 旦



住みよい都市づくりに 六万市民の総力を結集して



館山市長 本 間 謙

明けましておめでとう
ございます
昭和四十年の元旦を迎え
まして、ここに皆様と
ともに新春を寿ぎ、かつ
祝うことができ、かつ
を心から喜びとするもの
であります。
一年の計は、その元旦に
ありといわれるのであり
ますが、私はこの希望に
みちたおめでたい新春に
あたり、まず館山市の前
途を祝福するとともに、
今後ますます皆様のご期
待に答へ、郷土館山市の
発展に御身の努力を傾注
してまいりたいことを、お誓
いする次第であります。
私も市長就任以来満二
年、三度目のお正月をこ
こに迎えたのであります

が幸い市議会をば
じめ市民皆様の熱
意ある建設的な
協力によりまして
市勢は力強く前進
への道を歩んでお
るのであります。
顧りみするに
昨年以降、経済事情は次
第に下降線をたどり、全
國的な不景気として、地
方財政のゆきずまりは、
館山市にとつても、誠に
憂慮すべき事態を招来し
てまいつておるとき、今
後の発展打開策として、
外には専門的調査機関に
よる都市診断の実施し、
内には市政機構の合理
化をはかることと、そ
の重点施策として、産業
経済の振興、総合的な観
光開発教育施設の充実等
を推進してまいつたので
あります。
特に、四十一年完成を目
標に着工した南房州有料
道路の建設をはじめ、西
岬地区に第一期事業とし
て完成した国民休暇村施
設、城山公園の造園事業
及び海岸地帯の美化や、
海水浴場の施設設備等、
観光開発を主眼とした環
境整備に努力してまいつ
たのであります。
更に市民福祉向上の直接
要因となる産業基盤の確
立を図るため、山本、安
布里地区で進捗している
農業改善事業は、国の農
業政策の一貫とはいえず
面的な近代化であろう
と存じます。
教育面においては、市立
館山高等学校の拡充整備
とともに、県立移管運動
を市民皆様の協力の
もとに、全力をあげて突
進し、その実現を図つて
まいつたのであります。
このほか、市内校舎近代
化の第一陣として、神戸
小學校を二カ年継続事業
によつて、その鉄筋化に
着手したのであります。
これより順次、総合的な
整備計画を実施してまい
りたいと考える次第であ
ります。
市立第四中学校の体育館
は、幸いにして、地元の
非常な協力により順調に
進捗しておりますことと
皆様とともに喜びたいと
存じます。
いよいよ本年は、かねて

市民の心を心とし 議会の責務を遂行



館山市議会議員 黒川 佐太郎

明けましておめでとう
ございます
平和な希望に満ちた昭和
四十年の新春を迎え、こ
こに市広報を通じて年頭
のご挨拶を申し上げる機
会を得ました事は、私の
最も喜びとする所であ
ります。
我が国は、ご承知のよう
に外交内政ともに重要問
題を抱えておりますので
本年は稀有の多事多端な
年になることと思われま
す。地方自治体に於て

解明いゆる都市診断を
依頼したのであります。
昨年これが結論を得たの
で爾来それを重要参考資
料として市企画課を中心
に鋭意振興策を作成中で
近く完成の予定でありま
す。この青写真は市勢振
興上重要な意義を有す
るものとして期待される
ものであります。
なお昭和三十九年度にお
いては神戸小の校舎鉄筋
改築、四中の体育館建設、
山本、安布里地区の農業
構造改善事業が実施さ
れ、又館山湾沿岸の観光
施設、城山の開発等もそ
の著についたものであり
ます。
然し教育に關しては、多
数の老朽校舎の改築、館
山の県立移管、産業の面
では、農漁業の構造改善
及び近代化に伴う事業
環境衛生については、じ
ん芥焼却炉の建設、その
他市民会館建設等、将来

の懸案でありました、館
山市、富崎町及び三芳村
上水道組合による「那古
船形地区の上水道事業」
市民の集合、或いは体育
センター、環境衛生の
徹底をはかる「じん芥焼
却炉」の建設を本年の重
点施策として、進めてま
いりたいと存じて、これ
であります。特にこれ
らの施設は、いずれも都
市づくりの基本とも申す
べきものでありますので
極めて善い市政では
成をめざし、最善をつく
してまいりたいと思つて
おります。
更にこの事態に処して、
当地方発展の最もポイン
トともなるべき、道路交
通網の整備をはじめ、最
大の輸送機関である国鉄
電化復線の実現に一層の
拍車をかけ、現在、当市
発展を阻害する諸問題の
解決に努力いたしてまい
りたいと存する次第であ
ります。
どうか、本年も一層の市
民皆様のご支援、ご協力
をお願いいたしますことと
皆様と共々、新年の
心から祈念して、年頭の
ご挨拶といたします。

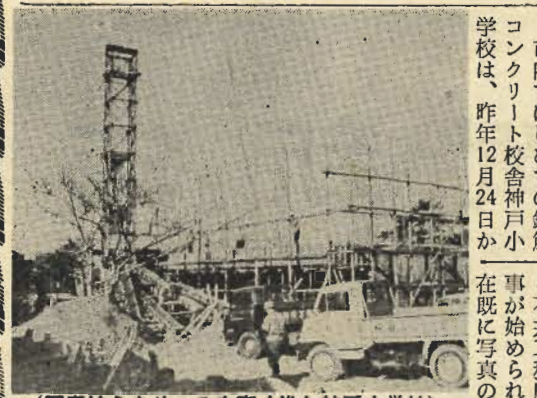
12月定例市議会から

追加予算の審議や 上水道組合議会議員等選出

十二月十四日から十八日まで開かれた十二月定例市議会は、館山市、富浦町、三芳村上水道組合議会議員の選出、館山市特別職報酬等審議会条例の制定など十六議案が審議され、それぞれ原案どおり可決されました。

着々と進む

神戸小学校鉄筋工事



(写真はミキサーの音高く進む神戸小学校)

市内ではじめての鉄筋コンクリート校舎神戸小学校は、昨年十二月二十四日から既に写真のように入行しています。

農業センサスにご協力を

今年二月一日現在で農業センサスが実施されています。この調査は、農業や農家に関する全国的な調査で、調査内容は、農家の人達の性別、年令、働き方、経営耕地面積や利用の状態、家畜や機械

20才になつたら加入

「20才になつたら加入」は成人の権利と義務を同時に与え、その反面社会的義務もはたさなければなりません。社会保険制度の一つである国民年金に加入することとも福祉国家を目指す今日においては重要な社会的義務の一つです。国民年金法は、明治四十四年四月一日(現在53才の人)以後生まれた日本国民で、農漁業、自家営業または無職などの人で、厚生年金や共済組合など、公的年金制度に加入していない人が加入する制度です。20才になつて該当される人は、すぐ市役所市民課に加入届けをいたしました。

成人の日と

国民年金のはなし

成人の日、奥さんの老令年金はあります。そこで年をとつてから、夫婦そろつて仲よく年金をうけ、明るく楽しい生活を過ごせるよう、奥さんを国民年金に加入させたのも、夫婦そろつて将来のため積立られます。この保険料は、年四期に分かれて令書がきます。明るく楽しい生活を過ごせるよう、奥さんを国民年金に加入させたのも、夫婦そろつて将来のため積立られます。この保険料は、年四期に分かれて令書がきます。明るく楽しい生活を過ごせるよう、奥さんを国民年金に加入させたのも、夫婦そろつて将来のため積立られます。

二、「固定資産評価審査委員会の委員選任」 この委員会の委員一名が、昭和39年12月21日任期満了となつたので、後任として市内船形九九八の竹山敏夫が選任された。第二日目は、十八日に再会になり、昭和38年度一般会計歳入歳出決算のほか、特別会計歳入歳出決算の認定報告が出され、一般質問のあと決算委員にまわされました。なお、一議案で可決されたものは、

幼稚園児募集 市内六カ所の市立幼稚園では、昭和四十年年度の入園児の募集を次のように行ないます。一、募集園児数

夏の家賃・貸借希望者は 一二月末までお届けを 夏の民宿は、年々需要が多くなつてまいりました。貸借希望者は、甲板科70名、機関科50名の生徒を募集しております。

館山保健所の健康相談日の変更 館山保健所の健康相談日が、一月一日からつきのとおり変更になりました。一般健康相談日 毎週水曜日の午後一時から二時

新春を寿ぎ 謹んで新年の御祝詞を申し上げます

Table listing various city officials and their names, organized by department such as City Council, Education, and Public Works.

総括表

会計別	予算額	執行額	同率	収入額	同率
一般会計	701,903	355,189	51	442,746	63
公益質屋	3,768	1,981	53	1,469	39
国保	110,445	59,309	54	63,059	57
と畜場	2,334	1,732	74	1,327	57
簡易水道	3,320	1,311	40	,887	27
休養施設	23,598	16,595	70	18,505	78
ユース・ホテル	3,266	1,795	55	2,088	64
上水道	3,732	1,734	47	2,558	69
計	852,366	439,646	52	532,639	63

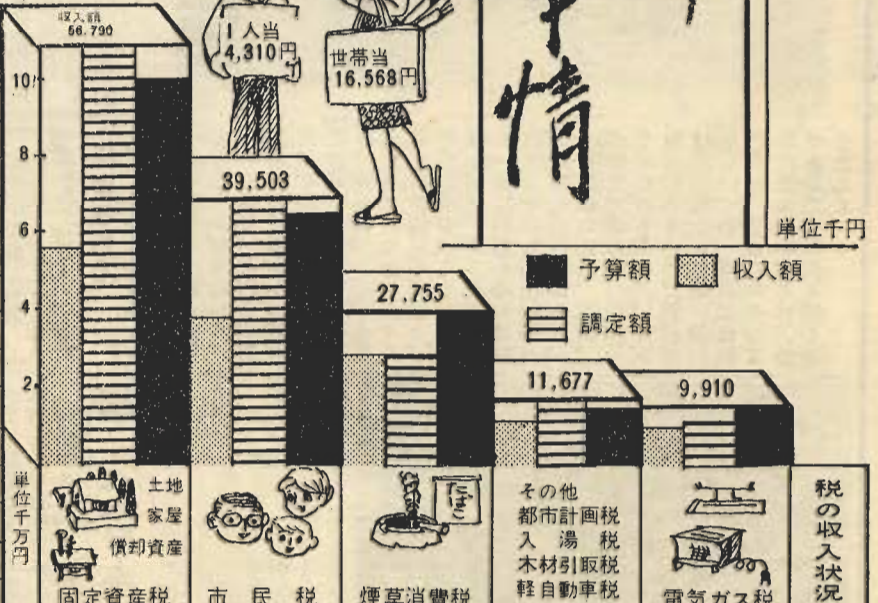
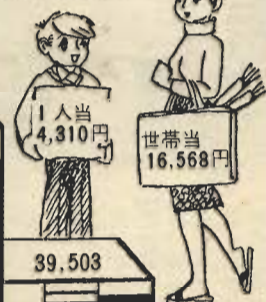
館山市告示第2号

今回は昭和39年度予算の執行状況について昭和39年11月30日現在で、皆様にお知らせ致します。
地方自治法(昭22法律第67号)第244条の規定による。

館山市 財政事情

人口 57,130人
世帯数 14,861人
面積 109.71km²

税の負担状況



一般会計

科目	予算額	執行額	説明
61 議会費	21,764	13,329	市会議員に支払う手当、議会を運営する費用。
59 総務費	123,314	72,799	市役所を運営する費用でその他の項目に属しない費用。税金を徴収する費用、選挙・統計等に要する費用。
70 民生費	83,014	57,807	生活に困っている人を救う費用、児童を保育する費用。国民年金等の費用。
52 衛生費	41,155	21,304	街をきれいにするための費用、病気の子供、し尿処理場を運営する費用。
61 労働費	8,704	5,276	失業者に職を与え道路工事等をさせる費用。労働者福利のための費用。
28 農林水産業費	71,009	19,819	農業・水産業振興の費用。農業委員会費、畜産業費。林業費、農業構造改善費、漁港建設費。
64 商工費	25,062	16,011	商業・工業振興の費用、中小企業融資予託。観光発展の費用。
44 土木費	67,709	29,654	道路・橋の維持修繕、港湾の改修。市営住宅を建設する費用。
51 消防費	48,408	24,529	貯水池の新設、消防車の購入、その他。消防関係諸費用。
44 教育費	185,906	81,380	校舎の維持新設、生徒児童の使う椅子・紙等購入。図書館、婦人会館、公民館、保健体育の費用。
54 公債費	24,437	13,281	国等からの長期借入金の元金と利息を支払う費用。
	1,422		予備費

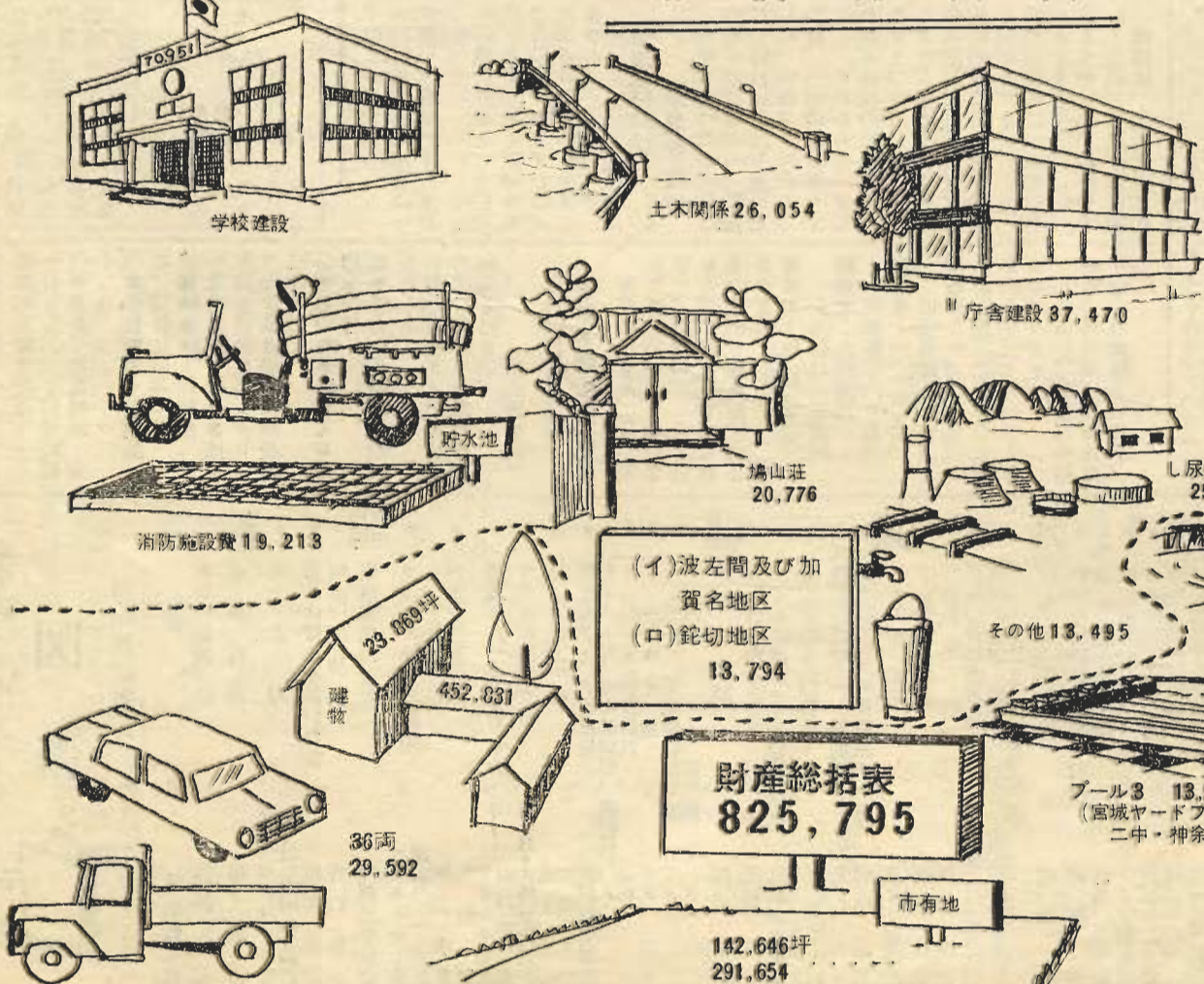
税の収入状況

税種	収入額	税率
市税 (A) 予算額	246,915	20%
市税 (B) 収入額	246,214	40%
地方交付税	162,550	60%
国・県支出金	121,159	80%
寄附金	24,759	
市債	36,500	
その他	110,020	

(イ) 用途

市債現在高

(ロ) 借入先



借入先	件数	金額
一般会計	68	189,024
資金運用部資金	36	110,105
簡易保険資金	25	49,618
損害保険会社等資金	7	29,301
特別会計	6	38,234
簡易保険資金	4	17,458
資金運用部資金	2	20,776
総計	74	227,258

財産総括表 825,795

基金	2	10,349
有価証券	2	3,399
予託金	2	8,500
出資金	2	1,170